一般質問

12月定例会では14人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いましたが、ここではその一部を掲載しました。

※本紙では、今議会で行われた質疑応答を、広報委員会で抜粋し、事項別に整理し掲載しています。個々の議員の発言等、詳しくは２月上旬作成予定の本会議録を図書館やインターネットでご覧ください。インターネットを利用する場合は「かまくらGreenNet」から鎌倉市議会ホームページを開き、会議録検索システムをクリックしてください。また鎌倉市議会ホームページの本会議中継システムから、録画映像も見られますのでご利用ください。

岡田　和則	「石渡市長の政治姿勢について」
納所　輝次	「青少年育成について」
本田　達也	「鎌倉市における契約のありかたについて」
山田　直人	「公民連携について」○行政経営戦略プランに関連して○先進事例に関連して「コミュニティーの活性化について」○コミュニティー形成の現状に関連して○コミュニティーの今後に関連して
吉岡　和江	「景気対策について」「経済情勢を反映した中での生活支援について」
早稲田夕季	「まちづくり」○交通政策について○景観とまちづくり○建築紛争の予防と対応「教育の諸課題」○特別な支援を要する児童・生徒への取り組み○少人数教育の充実○教育支援
原　　桂	「教育諸問題について」
高野　洋一	「住宅政策について」
三輪裕美子	「青少年活動支援」「地域福祉のネットワーク」
高橋　浩司	「市長の政治姿勢について」「行財政改革について」
千　　一	「信号の時間の延長の件」「大船駅東口にエレベーターを」「モノレールのホームの安全確保とバリアフリー化について」「身体障がいを含む障がい者のグループホームについて」「災害時の要介護者の介護者確保について」
久坂くにえ	「子どもをめぐる環境について」
前川　綾子	「世界遺産登録に向けて」「学校教育について」○特別支援教育の充実について○教員の労働環境整備について○第二中学校・大船中学校の改築について○保護者と学校の問題解決について「子どもの発達への支援と子育て相談の充実について」「高齢者福祉について」「障害者の就労支援について」
渡邊　　隆	「行財政改革について」「地域医療について」

地域コミュニティーの活性化について

地域コミュニティーの活性化について、次のような視点から質問が行われました。

【地域福祉のネットワーク】

質問…本市の地域福祉計画の進捗状況を教えてほしい。

部長…地域福祉計画に基づき昨年度に学識経験者や市民からなる支え合う地域プロジェクトチームを立ち上げ、行動計画実現に向け協議を行ってきている。

質問…支え合う地域プロジェクトチームの協議の中で検討されている（仮称）地域福祉支援室について教えてほしい。

部長…市と社会福祉協議会と共同で（仮称）地域福祉支援室を設置し、専任のコーディネーターを配置する計画である。また、今後段階的に各地域に日常的なコーディネート役を担う地域推進員を配置し、支援室のコーディネーターと連携して地域内の課題解決に当たっていきたいと考えている。

質問…地域の人と人を結びつけるキーパーソンであるコーディネーターの重要性と地域福祉について市長の考えを聞きたい。

市長…地域福祉の推進役であるコーディネーターは大変重要と認識している。地域の活動と行政との連携により、だれもが安心して住み続けられる地域づくりを推進したい。

【地域と学校の連携】

質問…防犯パトロールやわんわんパトロールの地域活動と学校と動物愛護の取り組み状況はどうか。

部長…学校は地域の団体に下校時間等を知らせ、協力をお願いしている。今後、各活動が有効的に働くよう、学校が中心となり調整を図るなど検討したい。

質問…子供を育てていく地域コミュニティーが衰弱しているとの話を聞く。本市では地域の方の協力があるが、今後も地域と連携し地域全体として防犯体制をより充実させてほしいがどうか。

部長…学校、保護者及び地域の方の地域内のコミュニケーションの活性化に向け、郵便局や新聞販売店等事業者の協力も得ながら地域全体の取り組みを推進したい。

【コミュニティーのあり方】

質問…大町地区と玉縄地域で行われている地域コミュニティーのモデル事業に共通的な課題はあるか。

部長…大町地区では現在、自治連合会、市民、学生等により地域防災マップを作成している。今後は防犯や福祉の視点を盛り込んだ総合版の地域カルテの作成を目指している。玉縄地域では自治・町内会連合会、地域の団体、市民等により、地域コミュニティーサイトの構築に向けた準備が進められている。共通の課題は担い手が少ないことである。

質問…地域ごとの土地利用ルールの充実に向けた自主まちづくり計画の策定支援の進捗状況はどうか。

部長…平成九年以後十一年間で十件の自主まちづくり計画が策定された。現在は富士見町町内会において策定に向けて取り組まれている。

質問…自主まちづくり計画の策定の進展が、地域力、コミュニティーの活性につながると期待する。これ以外に、地域の方が主体となって、地域のコミュニティーのルールづくりをしていったという事例があれば教えてほしい。

部長…地域コミュニティーの中でルールづくりと連動した動きはないが、現在のモデル事業はそういった地域のまちづくりを見据えた上での基盤づくりではないかと受け止めている。

質問…地域には自治会、町内会等の地縁組織のほかに様々なテーマを持った住民の活動団体がある。コミュニティーを地縁組織より大きな、活動団体を含めた地域性のあるものと捉えた自治型のコミュニティーが必要だと考えるがどうか。

市長…地方分権の議論がまだまとまっていない中で、行政としては現実問題としてコミュニティーをいかに作り上げるかという視点で取り組んでおり、自治型のコミュニティーは目指すもののうちの一つと考えている。今後とも地域の皆さんとコミュニティーのあり方について議論を重ねていきたい。

障害児者への支援について

障害児者への支援について、次のような視点から質問が行われました。

【特別な支援を要する児童・生徒への取り組み】

質問…平成十七年四月に発達障害者支援法が施行され、従来支援を受けにくかった学習障害、アスペルガー症候群（※文末参照）、自閉症の子供たちを発達障害と位置づけ、さまざまな取り組みをしていると思うが、本市における就学前の子供たちに対する早期発見、支援体制はどのようになっているか。

部長…一歳六カ月児健診、三歳児健診、巡回相談、今年度開始した五歳児すこやか相談等により支援している。

質問…五歳児すこやか相談の実施状況はどうか。

部長…幼稚園・保育園の三園で幼児七十五人に実施した結果、新たに二十二人に発音や対人関係等に何らかの支援が必要と判断された。

質問…保育園では統合保育が進められているが、全園民間である幼稚園では支援が必要な児童の受け入れ体制にばらつきがあるように聞くが、どのように実態を把握しているか。

部長…市から幼稚園に支出している特別支援保育運営費補助金の交付状況や巡回療育相談を通じ把握している。

質問…この補助金を使った受け入れ体制について、園や保護者の理解度はどうか。

部長…園と話し合い、保護者の理解を得て補助金を交付してきたが、今後も周知・活用を図り、受け入れ体制が円滑に進むよう努める。

質問…学童期での取り組み状況と今後の課題は何か。

部長…各校に配置する教育相談コーディネーターと担任が中心となり支援体制をとっている。また、臨床心理士の資格を持つ特別支援巡回相談員を小・中学校に派遣しているが、依頼が増えており、増員が課題である。

※アスペルガー症候群・言語発達や認知発達に遅れはないが、社会性や興味の関心が限定される障害。

【障害者への就労支援】

質問…市が助成する障害者雇用報奨金制度の利用状況を聞きたい。また制度の拡大の予定はあるか。

部長…知的障害者、精神障害者を雇用した事業主に対し、障害者一人につき月額三万円以内の報奨金を支給しており、今年度は二十七社、四十七人が見込まれている。企業を中心とした事業所に支給していた範囲を就労支援事業者にも拡大したい。

質問…地域作業所の状況はどうなっているか。

部長…現在、市内に十二カ所あり、二百人を超える障害者が利用している。

質問…作業所でつくられた作品を販売する鎌倉ふれあいショップの開催状況は。

部長…市役所本庁舎ロビーで火・木曜日に、鎌倉生涯学習センターロビーで月に二回開催している。

鎌倉ふれあいショップ・大船駅前にて

質問…売り上げ拡大につながる取り組みと工夫を考えてほしいがどうか。

部長…十二月二日に、新たに湘南モノレール大船駅改札前のペデストリアンデッキ上で五団体により開催した。地域作業所を初めて知った市民もおり、通常のほぼ倍の売り上げとなり、期待が持てるスタートとなった。今後新たな場所での開催を検討し、市民への周知・浸透を図っていきたい。

質問…障害者の就労支援についてどのように進めていくか、市長の考えを聞きたい。

市長…総合的で効果的な就労支援体制の整備に努め、だれもが安心して暮らせる住みよい地域づくりを推進していくために、積極的に取り組んでいきたい。

青少年の育成について

青少年の活動支援と育成について、次のような視点から質問が行われました。

【青少年活動支援】

質問…複数の子供たちから、健全育成や青少年育成という言葉は、大人が青少年に対して育成しているという感じを受けると指摘されたことがあり、私は今回の一般質問では、青少年の育成ではなく、活動支援という言葉を使っている。大人は青少年の主体的な活動を支援し、見守ってあげるというかかわり方が大切であり、その辺の意識を大人がまず改革していかなければならないと考えるが、どうか。

部長…青少年の健全育成という言葉を使わずに、活動支援という言葉を使っていきたいという考え方には大変共感できる。これまで私たちが使ってきた青少年を育成していくという言葉には、子供たちにきちんと育ってもらいたいという願いが込められていると思っている。しかし、青少年の側から、規制されているとか、監督されているとかいった印象があるのであれば、それを払拭するようなPRや事業活動が必要であると思う。青少年の育成のための事業を展開していく中では、青少年の活動を支援していくという姿勢を強く出していくべきだろうと思う。

【青少年の育ち合いの場】

質問…こども部で行っている遊びのイベントは、参加者が多いということを聞いている。そういったイベントも大切だが、一過性のイベントだけにとどまらず、青少年が日常的に下の年齢の子供とかかわるということも必要だと思う。地域で日常的な青少年同士の育ち合いの場が重要と考えるが、どうか。

部長…青少年同士が地域で日常的に育ち合いの場を設けるということを、具体的にイメージすることは今の段階では難しいと思っている。青少年の特徴として、地域に対しての関心が薄いということがあるが、地域への関心をもっていくことは必要だと思うので、なるべく地域で行われるイベントに参加しやすい環境づくりをしていきたいと思っている。世代の違う青少年がイベントに参加することが青少年同士の育ち合いの場につながってくると思う。

オペレッタの練習風景・玉縄青少年会館にて

【青少年育成総合意識調査】

質問…先ごろ青少年育成総合意識調査が行われた。この調査では、対象者の生活状態、食事の取り方、家族との暮らし、親との関係、青少年会館の利用などについて聞いているものだが、これからまとまるであろう調査結果を、どのように青少年施策に生かそうと考えているか。

部長…三十一年度から策定を予定している青少年健全育成プランの基礎資料として活用していきたい。

質問…調査結果を、青少年施策に生かす具体的な構想があれば聞きたい。

部長…まずは青少年健全育成プランを策定していきながら具体的な施策や事業を考えていくことになるが、千二百人を超える青少年の直接的な意見をもらった中では、例えば施設のあり方についての設問では、自由に飲食できるロビー、静かに学習できる学習室、インターネットが使えるIT室などの要望が三〇％を超えていた。このような具体的な意見をこれからの施策や事業に生かしていきたい。

【今後の青少年育成】

質問…鎌倉市では年少の子供の人口が増加している。喫緊の課題として、子育て支援、保育環境の充実が求められるが、数年たてば義務教育の充実、さらに数年たてば青少年育成の課題克服が今以上に求められる。今のうちに、早い段階で青少年育成のあり方を確立しておくべきだと思うが、どうか。

市長…行政としては、子供たちが健やかに心豊かに暮らせる町をつくるのが使命であり、大人たちの責任ではないかと思っている。中期実施計画の中で、青少年健全育成プランを早期に策定し、その中で青少年の育成に取り組んでいきたい。

陳情の議決結果

3件を採択、2件を不採択

【採択した陳情】

◆浄明寺一丁目の市有青地の保全を求める陳情

陳情の要旨は、釈迦堂口切通に連なる山林の一部に当たる市有青地の浄明寺一丁目六〇二番三及び六〇四番二の二筆の土地は、歴史的風土特別保存地区に隣接するのり地で、やぐらを包蔵する土地なので、市街化区域から市街化調整区域に変更し、最終的には歴史的風土特別保存地区として未来永劫保全されるよう、行政に働きかけてほしいというものです。

市からの説明によれば、当該青地については、慎重に対応していきたいとのことであり、また、当該青地を市街化調整区域に変更し、最終的には歴史的風土特別保存地区として保全することについては、次回の線引き見直しの際に、市街化調整区域への変更の方向で神奈川県と協議していくとともに、歴史的風土特別保存地区の指定については、長期的な課題として神奈川県と相談していきたいとのことでした。

委員会では、当該青地の保全に向けた取り組みを求める立場から、全会一致により採択し、本会議でも総員の賛成により採択しました。

◆（仮称）発達支援室設置についての陳情

陳情の要旨は、平成二十一年度に設置が予定されている（仮称）発達支援室において、障害や発達障害のある児童・生徒等に対して、相談、連絡調整、陪発事業のみならず、本人の自立や社会適応を促進するための指導も含めた支援を行う体制の整備をしてほしいというものです。

市からの説明によれば、発達障害を含む特別な支援を必要とする方への支援を推進していくため、（仮称）発達支援室の設置を検討したところ、障害や発達障害の診断や判定を受けた子供だけではなく、気になるという段階から相談を受けられるよう周知を図りつつ、支援を必要とする保護者と一緒に考え、就学前の支援内容や経過等を保護者の了解のもとで学校に引き継ぐとともに、自立や社会適応に関する指導については、保健・福祉・教育等関係機関が連携してライフステージに応じた一貫した支援を行えるようにしていくとのことでした。

委員会では、障害や発達障害のある人の自立や社会適応が促進されることは非常に大切であることから、全会一致により採択し、本会議でも総員の賛成により採択しました。

【不採択とした陳情】

◆鎌倉市立小学校での少人数学級の実現についての陳情

陳情の要旨は、市立小学校六年生まで、学校の希望に応じて三十五人以下学級を実施し、そのための教員を加配してほしいというものです。

委員会では、少人数学級の検証が必要であることから継続審査とする意見と結論を出すとする意見が分かれましたが、採決の結果、不採択とし、本会議では、少数の賛成により不採択としました。

◆石渡德一鎌倉市長の政治資金について議会として司法当局への告発を行うことを求める陳情

陳情の要旨は、市長の政治資金に関して、公職選挙法及び政治資金規正法違反容疑で市長及び会計責任者を司法当局に告発することを求めるというものです。

委員会では、議会として告発はできないとされていることから議決不要とする意見と、結論を出すとする意見に分かれましたが、採決の結果、不採択とし、本会議では、少数の賛成により不採択としました。

行して、事業者側と保全に向けた協議を行っており、住民の要望を踏まえ、今後も引き続き協議を行っていきたいとのことでした。

委員会では、当該地のがけ面の安全対策や緑地管理の課題はあるが、市の保全に向けた今後の交渉を見守るとともに、開発手続が進むという点では時間的猶予もないこと、また、景観保全は非常に重要であることから、全会一致により採択し、本会議でも総員の賛成により採択しました。

【不採択とした陳情】

◆鎌倉市立小学校での少人数学級の実現についての陳情

陳情の要旨は、市立小学校六年生まで、学校の希望に応じて三十五人以下学級を実施し、そのための教員を加配してほしいというものです。

委員会では、少人数学級の検証が必要であることから継続審査とする意見と結論を出すとする意見が分かれましたが、採決の結果、不採択とし、本会議では、少数の賛成により不採択としました。

◆石渡德一鎌倉市長の政治資金について議会として司法当局への告発を行うことを求める陳情

陳情の要旨は、市長の政治資金に関して、公職選挙法及び政治資金規正法違反容疑で市長及び会計責任者を司法当局に告発することを求めるというものです。

委員会では、議会として告発はできないとされていることから議決不要とする意見と、結論を出すとする意見に分かれましたが、採決の結果、不採択とし、本会議では、賛成者なく不採択としました。

請願・陳情の提出について

皆さんの意見や要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として、請願と陳情があります。

請願と陳情の違い

請願は１人以上の紹介議員の署名が必要です。
（陳情には必要ありません。）

提出の締め切り

提出はいつでもできますが、各定例会の初日の前日までに提出されたものはその定例会で審査をし、期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会で審査します。

平成21年２月定例会の受付期限　　２月17日（火）

※提出に当たっては、所定の様式がありますので、事前に議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。電話0467(23)3000　内線2448

議会を傍聴してみませんか

本会議をはじめ、各委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。

本会議の傍聴

本会議当日に、市役所議会棟入口にある守衛室までおいでください。先着順に傍聴券を交付します。

常任委員会・特別委員会等の傍聴

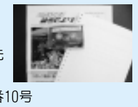
委員会当日に、市役所２階の議会事務局で申し込みをしてください。なお、席に限りがありますので先着順になります。

当日の審査内容や審査する順番は委員会の冒頭で確認された後、議会事務局前に掲示されます。

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。
電話：0467(23)3000　内線2448

かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内

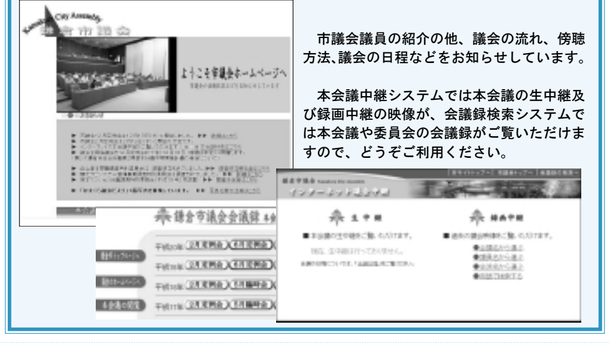
鎌倉朗読・録音奉仕会と
鎌倉市点訳赤十字奉仕団の
ご協力により、
議会だよりの音声版（収録テープ）と
点訳版を作成しています。
ご利用希望の方は、お申し出ください。



お問い合わせ先
〒248－8686
鎌倉市御成町18番10号
議会事務局議事調査担当
電　話：0467(23)3000　内線2448
ＦＡＸ：0467(23)5825

市議会ホームページ

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm



市議会議員の紹介の他、議会の流れ、傍聴方法、議会の日程などをお知らせしています。

本会議中継システムでは本会議の生中継及び録画中継の映像が、会議録検索システムでは本会議や委員会の会議録がご覧いただけますので、どうぞご利用ください。